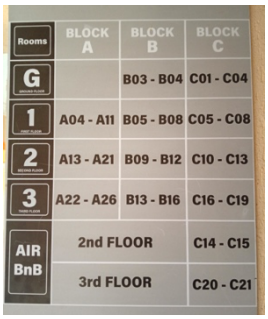
Karibu Kenya!

☆JICA 海外協力隊　ケニア通信 No.5☆　　２０２６年８月３１日　　発行者:夏目佳代子

Habari gani?（ハバリ　ガニ？）お元気ですか？ナイロビに来て早くも１ヶ月が経ちました。少しずつ生活にも慣れてきましたが、びっくりすることはまだまだあります。



Rooms	BLOCK A	BLOCK B	BLOCK C
G		B03 - B04	C01 - C04
1	A04 - A11	B05 - B08	C05 - C08
2	A13 - A21	B09 - B12	C10 - C13
3	A22 - A26	B13 - B16	C16 - C19
AIR BnB	2nd FLOOR		C14 - C15
	3rd FLOOR		C20 - C21

☆G（１階）が一番上なのはなぜ？？

☆ケニアのびっくり　その６　１階は２階？

ケニアの建物の１階はグラウンドフロア、エレベーターなどには「G」と書かれてます。そして、２階がファーストフロア、つまり「１階」。３階はセカンドフロア「２階」と、日本とは１階ずつずれているのです！ケニアはかつてイギリスの植民地だったため、建物の階数を数えるのにイギリス式が用いられています。そして、不思議なのは、フロアの案内表示が、右の写真のように、上から下に向かって、G、１階、２階、３階・・と書かれていることです。上に行くのに下に行くような感じです。

☆スワヒリ語の授業　後半編

スワヒリ語の後半５日間の授業では、道案内、体調の言い方、ケニアの文化など様々なテーマの表現を学びました。ナンシー先生：「Sawa? サワ？（分かりましたか？）」私たち：「Sawasawa. サワサワ（分かりました。）」新しい表現を習った後、ペアでその表現を使ってダイアログを作り、発表することが多くありました。ダイアログを作る時間はだいたい５分。練習時間もそこそこに発表です。スワヒリ語は、m で始まる単語がとても多く、なかなか覚えられません…ノートを見ようとすると、「Without reading!（読まずに！）」と声がかかります。鍛えられます。

☆「どうしましたか？」
「足を痛めました。」

前回に続き、スワヒリ語のおもしろいな～と思う点です。

その３　一文字なのに意味がある

日本語の１文字で、意味をもつ単語がいくつかあります。

例えば、　ni ニ＝am, are, is　　si シ＝am, are, is + not　　na ナ＝and
　　pa パ＝give、与える　　ja ジャ＝come、来る　　la ラ＝eat、食べる

スワヒリ語で「私」は「mimi ミミ」。最初のミにアクセントです。I am Kayoko. と自己紹介する時は、Mimi ni Kayoko.（ミミ　ニ　カヨコ）、否定文は、Mimi si Kayoko.（ミミ　シ　カヨコ）となります。

その４　日本語？！

スワヒリ語を聞いていると、「あれ？日本語？」と思うことがあります。日本語にある単語で、スワヒリ語では別の意味になる単語があっておもしろいです。

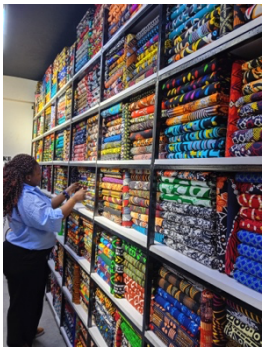
moja（モジャ）＝数字の１　　saba（サバ）＝数字の７　　gari（ガリ）＝車
maji（マジ）＝水　　kata(カタ）＝切る　　jiko（ジコ）＝ガスコンロ
Nani？（ナニ？）＝誰？　ちなみに、「何？」と聞くときは「Nini?（ニニ？）」です。

スワヒリ語の授業の最終日は、授業４時間に加えて、テストが２時間。なかなかハードでしたが、自己紹介や基本的な会話ができるようになりました。教えてくださったナンシー先生に「Asantes sana. アサンテ　サナ（どうもありがとう）。」とお礼と一緒に折り鶴を渡したらとても喜んでくれました。更生学校の生徒たちやスタッフ、町の人たちともスワヒリ語で会話ができるように、これからも学習を続けていきたいと思います。

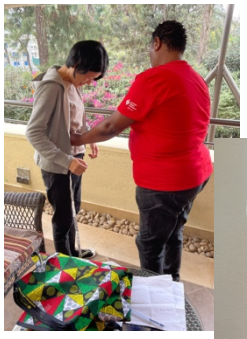
☆アサンテ、ナンシー先生
手で NANCY 読めるかな？

☆キテンゲで服作り

「キテンゲ」という言葉を聞いたことがありますか？キテンゲとは、主にケニアやタンザニアなどの東アフリカで広く使われているカラフルなプリント生地で、デザインも１枚１枚ちがいます。ケニアでは、仕立て屋さんに好みの服を作ってもらうことが身近で、普段着から特別な行事まで幅広く着られます。９月からはそれぞれの任地での活動が始まります。中には、ナイロビからバスで１０時間以上かかる任地で活動する隊員もいます。ナイロビでの訓練の間に、みんなで同じ柄のキテンゲで服を仕立ててもらうことにしました。まずは生地屋さんへ。天井から床までびっしりとキテンゲが置かれています。たたんである生地を広げると、またイメージが違います。何枚も出してもらって見ましたが、どれも個性的でなかなか決められません。いくつか候補を出した中から、ケニアの国旗カラーが入ったキテンゲを選びました。



後日、仕立て屋のエリザベートさんが滞在先のホテルに来てくれました。それぞれ自分が作りたい服の写真を見せ、採寸してもらいます。私はスカートをお願いしました。できあがりを楽しみに待つこと１週間。エリザベートさんが、完成した服を届けてくれました。スカートは裏地まで丁寧につけられていました。それぞれ作ってもらった服は、どれもぴったりな仕上がりです。訓練の最終日、仕立てた服をみんなで着て行ったら「今日は何かイベントがあるの？」と聞かれました。ケニアでは、お祝い事などの特別なイベントの時におそろいで仕立てることが多いそうです。



☆採寸中

☆国連の見学ツアーに行ってきました

ナイロビの北の方に国連ナイロビ事務局があります。ここには、国連環境計画（UNEP）と国連人間住居計画（UN-HABITAT）の２つの国際機関が本部を置いています。入り口を入るとまず各国の旗がずらり。日本とケニアの国旗は向かいあうように立っていました。その先には広い芝生。Karibuni（カリブーニ）はスワヒリ語で「ようこそ」という意味です。「カリブ」は一人の人に対して、「カリブーニ」は複数の人に対して使います。

☆日本（左）とケニア（右）の国旗

ニューヨーク本部は３９階建ての大きなビルですが、ナイロビ事務局の建物は、木々の高さを超えないように設計されています。ナイロビの街並みとはまた違い、森の中に建物が建っている感じです。2011 年に世界初のエネルギー自給型国連施設として開館し、屋上に 6000 平方メートルに及ぶソーラーパネルが設置されてエネルギーを自給している他、雨水の利用や下水の再利用も行われています。現在、国連は、ユニセフなどニューヨーク本部の機能を一部ナイロビに移転する計画を進めています。グローバルサウスの中心地となること、コストの削減、など様々な理由があるそうです。先ほど紹介した芝生には、1600 人を収容できる会議場が 2029 年に完成予定で、こちらも屋根に太陽光パネルが設置され、電力を自給して温室効果ガスを出さない設計になっているそうです。

☆KaribUNi の中に UN（国連）が入っています。

☆UNEP の建物

次回はいよいよ任地のキリギティからお伝えします！